

人が輝き 活力ある街 豊田

ひあて こうすけ

日當 浩介

発行日:平成 30 年 10 月吉日

〒473-8501

豊田市高丘新町天王1番地

TEL:0565-54-1190

FAX:0565-54-1206

Kou.hiate@to.at-takaoka.co.jp

発行:ひあて浩介後援会

観光紹介 足助町香嵐溪 写真提供:ツーリズムとよた

市政レポート VOL. 14



一日頃よりのご支援ありがとうございます。—
盛夏の候、皆さまにおかれましては益々のご健勝のこととお慶び申し上げます。

今年の夏は、例年になく酷暑に見舞われ国が災害レベルと発表するほどの暑さとなりました。豊田市におきましては小学生児童の痛ましい事故が発生してしまったことに、心から哀悼の意を示すとともに、教訓にして、二度と起きない対策に取り組んでいかなければなりません。また、市議会としても行政の施策に対し、命に関わる重要な取り組みにはしっかりと後押しを行っていきます。

さて、豊田市議会におきましては、9月定例議会では、平成29年度決算ならびに27議案が上程され、慎重・審議のうえ可決しましたので、一部を抜粋してご報告させていただきます。

皆さまからのくらしの相談

歩道橋の足場が老朽化して、転倒の危険がある！

相談： 駒新町の県道284号線の歩道橋のステップ部分が腐食によりデコボコ、また剥げている。

通学路としても利用する歩道橋のため、**子ども達の安全確保**としても修繕を行って欲しい。

対策： 県道を管轄する豊田加茂建設事務所へ修繕要望と駒場自治区長へ報告、相談を行いました。

結果、腐食防止の塗装・ステップ部分の修繕・すべり止めを実施して頂きました。また、修繕時期に関しては、子ども達の長期連休である夏休みを利用し行われました。



< 依頼場所 >

ココ



< 対策前 >

ステップ部分のヒビ・ワレ



< 対策前 >

ステップ部分の剥離



< 対策後 >



< 対策後 >

塗装・すべり止め施工



< 対策後 >

ステップ部分貼り替え

9月定例議会で一般質問登壇！

デジタル情報発信の強化について質問しました！

市民への情報発信はもとより、スポーツのビッグイベントを控えている今こそ、本市の魅力発信を海外を始め、市内外に精力的に行うことに加え、西日本豪雨のように外部の音が遮断されるような状況でも正確な情報を市民に伝え、安全・安心につながるツールとして、効果を高めていく必要と強化することが重要と考え今回の質問を行いました。

問：市民目線に立った情報発信の評価

答：今年8月の調査で「満足」9.4%、「どちらかという満足」が66.0%、一定の成果があげられていると評価。一方、約1/4の人が不満を感じているため情報発信力の強化を図っていく。

**問：資源・ごみ分別アプリさんあーの利用状況と評価
(代表的ツールを紹介)**

答：ごみ出し忘れお知らせアラームやリサイクルステーションへの道路案内など、便利な機能で市民からも好評、登録件数も平成30年7月末には約1万5千件と着実に増加。

問：SNSを活用したシティプロモーションのインバウンド戦略への取組は

答：海外向けにインターネット上への広告の掲載などを実施。情報発信の強化目的で、7か国約50人の人気ブロガー・インフルエンサーと呼ばれる人や新聞・雑誌メディア関係者を招聘するなど、今後も戦略的なプロモーションに注力する。

問：驚きや興味、好奇心をくすぐる観光キャッチコピーが必要と考える。

答：印象深いロゴやキャッチコピーは、観光イメージを構築する(ぜひ効果が期待できるため、観光実践計画の中で取り組みを行っていく)。

問：心惹かれる中心市街地のインスタ映えスポットの創出の考え

答：公式インスタグラムで『ラグビーモニュメント』などスポットを創造・発掘し、広げることは魅力や集客に効果が期待できる。今後も、中心市街地のまちづくりの中で意識して取り組む。

意見：本市に必要なことは“写真スポットがある”ではなく人を惹きつけ魅了し、豊田市を訪れてみたいと思えるスポット創出だと思う。その工夫を行なって欲しい。

問：豊田市公式 LINE@へ災害情報機能を追加し発信する考えは

答：有効なツールであり災害時には複数の情報発信手段を確保することが重要と考える。緊急メールとよたや防災ラジオ等で発信する避難勧告等の発令や避難所の開設状況などの情報発信に向け、準備を行っていく。

問：災害時のタイムリーな情報提供に向け SNS の活用を求める。福岡市の防災アプリは平常時、地域グループで活用し、市が指定避難所を開設する震度5以上の地震発生で「災害モード」に自動的に切り替わり、行政への連絡・通報、避難場所への誘導などの災害対策機能がある。また、他自治体にもシステムを無償で提供、ランニングコストも掛からない。新たなアプリや豊田市公式 LINE@の機能強化も含め、市民力・地域力を最大限に活かす災害対策の SNS 導入を求める。

答：SNSの情報収集は、即時性や局地性のある情報を獲得する有効な手段の一つであり、適切な災害対応へと繋がる。しかし、SNSの情報にはデマや誤報が含まれることもあり、的確な情報を抽出する必要がある。議員ご発言の防災アプリも含め、他自治体での活用実績等も踏まえながら、本市に適合した防災 SNS 活用策を取り入れる。



私の想い：高齢者や聴覚障がい者・難聴地域など、災害情報の確実な提供として防災ラジオの整備・販売を開始した。同時に、未来ある小さな子ども達やその親、そして全市民を守るための対策も重要。そのため、若い世代を中心に利用が多いスマートフォンを活用した情報発信として、アプリの導入を求めた。その結果、導入を行う旨の回答を頂いた。今後は、導入に向け進捗を確認していきます。



豊田市 LINE@



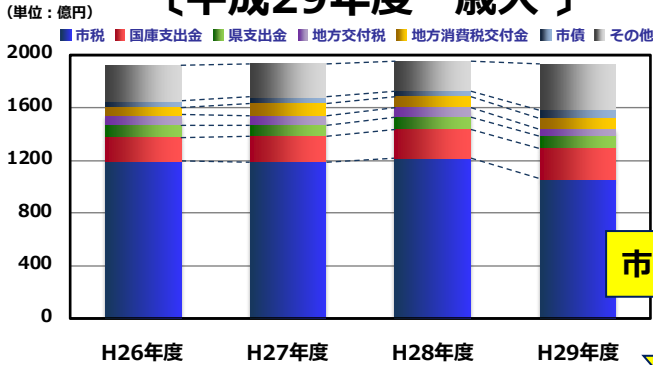
平成 29 年度一般会計決算報告

9月議会で審議された平成29年度一般会計の決算審議内容を報告します。私達の税金がどのように使われたのか、議会でのチェックと審議会での質問により確認を行いました。

平成 29 年度歳入 1,931 億 3,041 万円
前年度比▲22 億 4,863 万円 (▲1.2%)

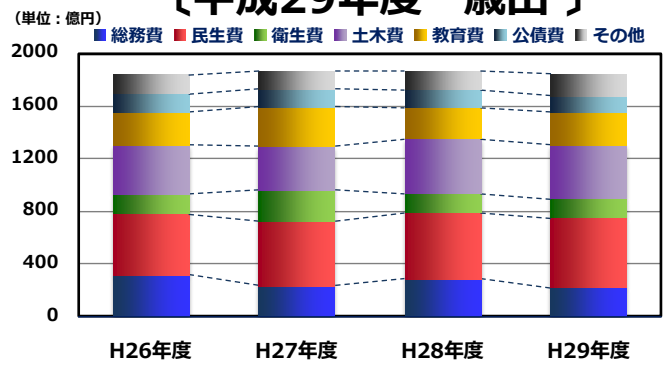
平成 29 年度歳出 1,845 億 2,273 万円
前年度比▲20 億 5,310 万円 (▲1.1%)

〔平成29年度 歳入〕



歳入 (市に入ってくるお金)	内容
市税	市民の皆さんが納めるお金
国庫支出金	国や県から入るお金で、使い道が決められているお金
県支出金	国や県から入るお金で、使い道が決められているお金
地方交付税	使い道が自由な国から入るお金
地方消費税交付金	地方消費税のうち県から配分されるお金 (子ども医療費補助・子ども園運営等)
市債	国や銀行などから借りたお金
その他	使用料や手数料など

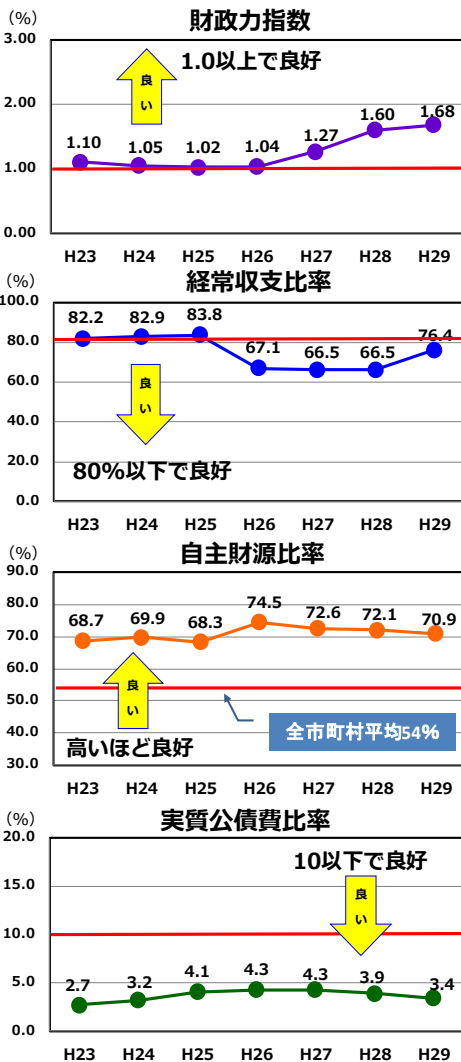
〔平成29年度 歳出〕



市税の内訳	金額	前年度比
個人市民税	320.8億円	+4.7億
法人市民税	184.1億円	▲172.9億
固定資産税	406.1億円	+10.3億
その他	111.7億円	+1.1億

※法人市民税：為替による企業業績の影響

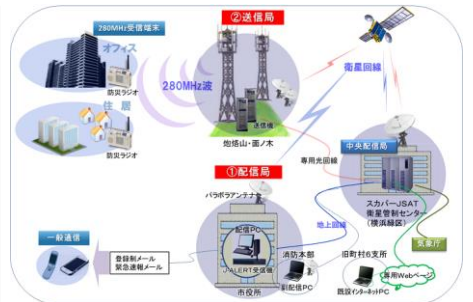
財政指数から健全財政といえます。



決算における歳入は為替の影響により法人市民税が減少したが、基金の活用により予算規模の急激な減少はさけた。歳出については8つの重点施策が示されるなか、将来へのまちづくりに必要なハード整備を計画的に推進し、早期効果の実現を目指しました。

＜主な実施事業＞

豊田市駅前 商業施設KITARA 平成 29 年 11 月 25 日オープン
災害弱者・難聴地域対応のため 280MHz 同調無線システム整備。



ものづくりの集約と総合的な支援体制整備として「SENTA N」を開設。

福祉相談をワンストップで受ける健康と福祉の相談窓口を高岡支所に開設。



9月議会での可決した議案を紹介

小学校のエアコン設置を前倒しします。

議案 104号 補正予算について - 小学校空調機器整備事業 -

小学校の空調機器設置完了を2年前倒しし、2019年度（目標6月末）までに早期完了を図るため、来年度予算の47億5千万円を確保し本年度から設置に向けた準備を進めます。

総事業費：71億円

設置教室：約2,400室

設置工事は平日でもおこなうため、学校運営の調整や設置業者不足も考慮し、工期を2019年末に設定する。

中学校は計画変更なし。国の補助金採択によっては前倒しで工事着手。※ふるもと代議士も国に対し、早期設置に向け働きかけて頂いています。

当初スケジュール

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
中学校(28校)	設計	工事		
小学校(38校)		設計	工事	
小学校(37校)			設計	工事

前倒しスケジュール

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
中学校(28校)	設計	工事		
小学校(75校)		設置目標	設置完了	← 前倒し

ラグビーワールドカップ2019に向けた整備を進めます。

- 豊田スタジアム大型映像装置増設工事 - - 豊田スタジアムピッチ照明設備改修工事委託 -

ラグビーワールドカップ2019開催要件を満たすため、2基目の大型映像装置とピッチの照明設備改修が必要であるため整備する。

大型映像装置

契約金額：4億9,788万円

工事概要：高輝度フルカラーLED

供用開始予定：2019年3月22日

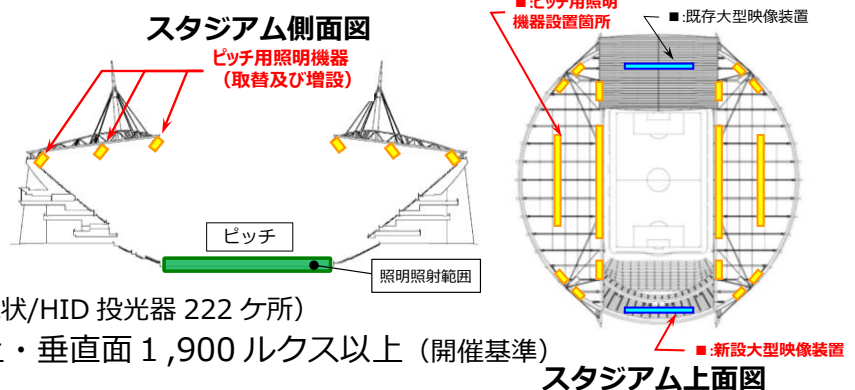
ピッチ照明設備

契約金額：5億0,322万円余

工事委託概要：LED投光器554ヶ所（現状/HID投光器222ヶ所）

ピッチ明るさ：水平面2,250ルクス以上・垂直面1,900ルクス以上（開催基準）

供用開始予定：2019年5月31日



2019年度に向け皆さまの声を市政に要望

平成30年8月24日(金)に市民フォーラム※1として太田稔彦豊田市長に2019年度に向けた政策要望の申し入れを行いました。この要望書は連合・自動車総連・全ト労連、支持母体である労働組合や協力企業、地域の皆さまの声を政策に反映させるものです。今回は安全・安心社会の実現をベースに、課題と捉えているタイムリーな宅地供給、待機児童対策、介護を含めた高齢者施策など、豊田市に住み続けたい、また選んでいただけるよう議論に議論を重ね3つの柱※2で32項目を要望しました。

<市長コメント>

市民フォーラムの要望に関しては、建設的で重要なものであるため、議会などで議論を深めて行きたい。また、生命や財産にかかわることに関して、重要であるが特効薬的なものは存在しないため、地道に継続的に取組んで行くので、今後ともご協力をお願いしたい。

※1 市民フォーラムとは・・・⇒トヨタ系市議10名で構成する会派

※2 3つの柱①安全・安心なまちづくり

②住み続けたい快適なまちづくり

③持続可能なまちづくり



ひあて浩介

検索